

# 来週の「売り物記事」はこれ



2018年3月2日号

毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

## 成田緑夢の新たな「夢」

4日(日)



3月9日に開幕する平昌(ピョンチャン)冬季パラリンピックのスキーボードに成田緑夢(ぐりむ)(24)＝写真＝が出場します。兄の童夢(どうむ)、姉の夢露(めろ)は2006年のトリノ五輪スキーボードハーフパイプに出場。成田も五輪を目指していましたが、左足のけがを機にパラリンピック競技と出会いました。2月のW杯を制するなど今では金メダル候補に成長。メダル獲得ではない新しい夢を掲げ、挑戦を続ける姿を追いました。筆者は大阪運動部の長田舞子記者です。



## サーキットの狼、北斗の拳、はだしのゲン…名作漫画の裏話

### 僕らを夢中にさせた「少年ジャンプ」の50年

夕刊特集ワイド 6日(火)



ケンシロウ、翼、孫悟空……。少年時代に「週刊少年ジャンプ」(集英社)の漫画に夢中になった人は少なくないでしょう。1994年のピーク時には600万部を超え、現在も少年コミック誌のジャンルでは断トツの人気を保っています。その「ジャンプ」が今年7月で創刊50年を迎えます。その間、生み出した名作は数知れず。「僕ら」を夢中にさせたあの漫画の裏で、どんなドラマがあったのか。関係者にじっくり話を聞きました。

## 親ありて 原口元気さんの両親

くらしナビA面 7日(水)

サッカー日本代表の原口元気選手の両親が、子育てについて語りました。幼い頃から、大きくなったらサッカー選手になると親子ともども信じていました。そのため、食事はもちろん、大学までサッカーをしていた父の一さんのアドバイスなど両親は全面的にバックアップ。今でも試合のあとに無料通信アプリLINEでやりとりをしている仲良し親子だといいます。



## 再びつながる 東日本大震災

くらしナビA面 9日(金)



東日本震災で、被災者の生活はばらばらになりました。そこで、3回にわたって、各地でいろいろなつながりを生みだそうと取り組む人たちを紹介します。福島県では放射能汚染で子どもたちが外で遊べなくなりました。そこで砂場を作って、遊び場を提供するNPOが活躍しています。以前は屋内だった砂場も今では屋外に。徐々に元の生活を取り戻そうとしています。

## 出るか好記録 びわ湖毎日マラソン

スポーツ面など 5日(月)

「第73回びわ湖毎日マラソン」が3月4日、滋賀・皇子山陸上競技場発着で行われます。招待選手は国内外から18人。国内招待では15年世界選手権1万メートル代表の村山謙太(旭化成)らが名を連ね、海外からは昨年覇者のエゼキエル・チェビー(ケニア)、2時間5分台の記録を持つアベラ・クマ(エチオピア)らがエントリー。また、2月25日の東京マラソンで2時間6分11秒の日本新記録を作った設楽悠太(Honda)の双子の兄、啓太(日立物流)が一般参加で走ります。東京に続いてびわ湖でも日本勢が好記録をマークできるか、注目です。



## 五輪に続く感動を 平昌パラリンピック開幕

一面、スポーツ面など 10日(土)

障害者スポーツの祭典、平昌冬季パラリンピックが9日に開幕します。冬季大会では過去最多となる49カ国・地域が参加。日本勢はスキーのアルペン、距離やバイアスロン、スノーボード、パラアイスホッケーに出場予定で、アルペンスキー座位の狩野亮(マルハン)や森井大輝(トヨタ自動車)、スノーボードの成田緑夢(近畿医療専門学校)ら有望選手も少なくありません。日本選手団の目標は、前回ソチ大会を超える過去最多の7個のメダル獲得です。



## 「働き方改革」を考える

### どう変える私たちの労働慣習

オピニオン面 [論点] 7日(水)

開会中の通常国会の焦点である働き方改革関連法案を巡り、安倍晋三首相が厚生労働省の異常データ問題を受け、裁量労働制の対象拡大の提出を断念しました。そもそも、改革の目的は、残業を少なくし、「ブラック企業」「働きアリ」などと批判されることもある日本の労働慣習を是正することでした。私たちの働き方を変えるにはどうしたらいいのでしょうか。



時代が見える——。オピニオン面にご期待ください。

## 「明日を探して」～東日本大震災7年

7日(水)

東日本大震災から11日で7年が経ちます。震災と原発事故で人生が大きく変わった人たちは、これまでの年月の中で、何を思い、選択し、決断し、どう生きてきたのでしょうか。被災地を離れた人、踏みとどまった人、戻った人。被災はしていないが、価値観を大きく変えた人。批判、分断、苦悩、葛藤。それぞれの日々を乗り越えながら、新しい一歩を踏み出した人たちの群像を7回にわたり、描いて行こうと思います。